

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## &lt;施工の前に&gt;

**警告**

- ウォールは転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- トランス電源ユニット（屋外用）の取付けおよび詳細については、トランス電源ユニットに付属の取付説明書を参照ください。

## &lt;施工上のご注意&gt;

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
・φ4ネジ：1.5N・m ± 0.5N・m (15±5kgf・cm)

## <施工上のご注意 つづき>

### ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 本体、後側パネルには養生シートが貼られています。必ず養生シートをはがしてください。

## <基礎工事についてのご注意>

### 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

### ポイント

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## <電気配線工事について>

### 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。故障や漏電した場合に感電する恐れがあります。

### ポイント

- LEDユニットを取付ける場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとお手入れの際、夜間照明を消したい場合に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。
- 照明用配線と信号線は電線管により隔離してください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6の単線2芯を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm<sup>2</sup>のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。
- 機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。
- インターホン用配線に使用するY端子は、1.25-3を別途準備してください。

# INDEX







1. 基礎の施工と各部名称……………	4	4. オプションの取付け……………	8
1-1 基本タイプ……………	4	4-1 サイン・インターホン・照明のネジ固定可能範囲 対応可能なポストの取付高さ…	8
1-2 フレームタイプ……………	4	4-2 ポストの取付け……………	8
2. 配線工事……………	5	4-3 インターホンの取付け……………	9
2-1 AC100V配線 (※) ……	5	4-4 サインの取付け……………	9
2-2 DC12V配線 (※) ……	5	4-5 照明の取付け (※) ……	10
3. 本体の建て込み・基礎の打設……………	6	5. 本体・笠木・フレームの取付け……………	12
3-1 基本タイプの場合……………	6	5-1 基本タイプの場合……………	12
3-2 フレームタイプの場合……………	7	5-2 フレームタイプの場合……………	14

## ⚠ 注意

●(※) 印のある工程はAC100Vの電気配線工事があります。配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。故障や漏電した場合に感電するおそれがあります。



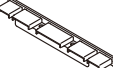



## ■ 梱包明細表

### 【1】 本体


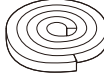


名 称	略 図	員 数
本体		1
後側パネル ※本体に仮組みされています。		1
【1-1】φ4×20トラスタッピンネジ3種 生地		4
【1-2】φ4×20トラスタッピンネジ3種 ブロズ		4
【1-3】M4用平座金 生地		8
【1-4】M4用平座金 ブロズ		4
【1-5】M4用六角ナット		12
【1-6】M6用六角ナット		4
取付説明書<B093>	—	1
取扱説明書<UB016>	—	1

※本体に同梱されているネジ・六角ナット・平座金は、ポスト・インターホン・サイン・照明に使用します。  
現場によっては全て使用しない場合があります。


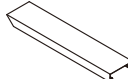



### 【2】 笠木

名 称	略 図	員 数
笠木		1
笠木ベース(単独用)		1
笠木キャップ		2
【2-1】φ4×25ナベタッピンネジ2種		4
【2-2】φ4×13ナベドリルネジ 生地		2
【2-3】φ4×6特サラタッピンネジ3種		4

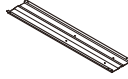
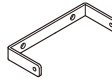


### 【3】 フレーム取付ベース (接続部品)

名 称	略 図	員 数
笠木ベース(接続用)		1
クッション材		1
【3-1】φ4×25ナベタッピンネジ2種		4
【3-2】φ4×13ナベドリルネジ 生地		2

### 【4】 標準フレーム (W20)

名 称	略 図	員 数
サブ柱		1
フレーム本体		1
フレーム接続キャップ		1
フレーム端部キャップ		1
【4-1】φ4×14ナベタッピンネジ3種		2

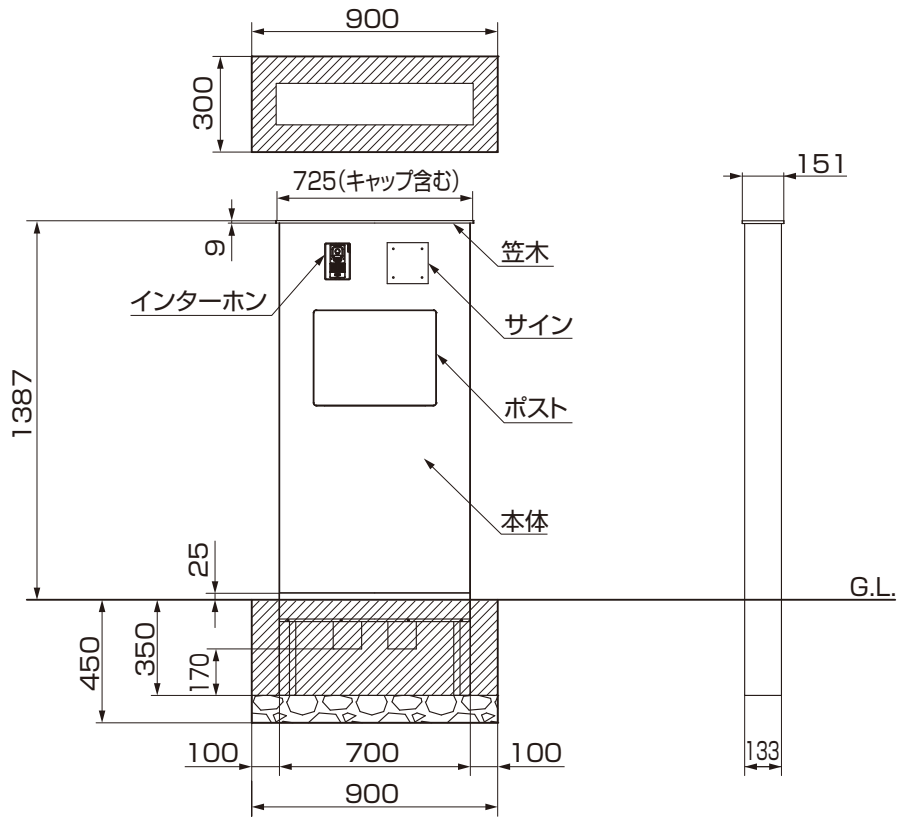
### 【5】 フレーム取付ベース (W20)

名 称	略 図	員 数
フレーム本体ベースB		1
フレーム接続金具		1
【5-1】φ4×12ナベタッピンネジ3種		8
【5-2】φ4×14ナベタッピンネジ3種		6

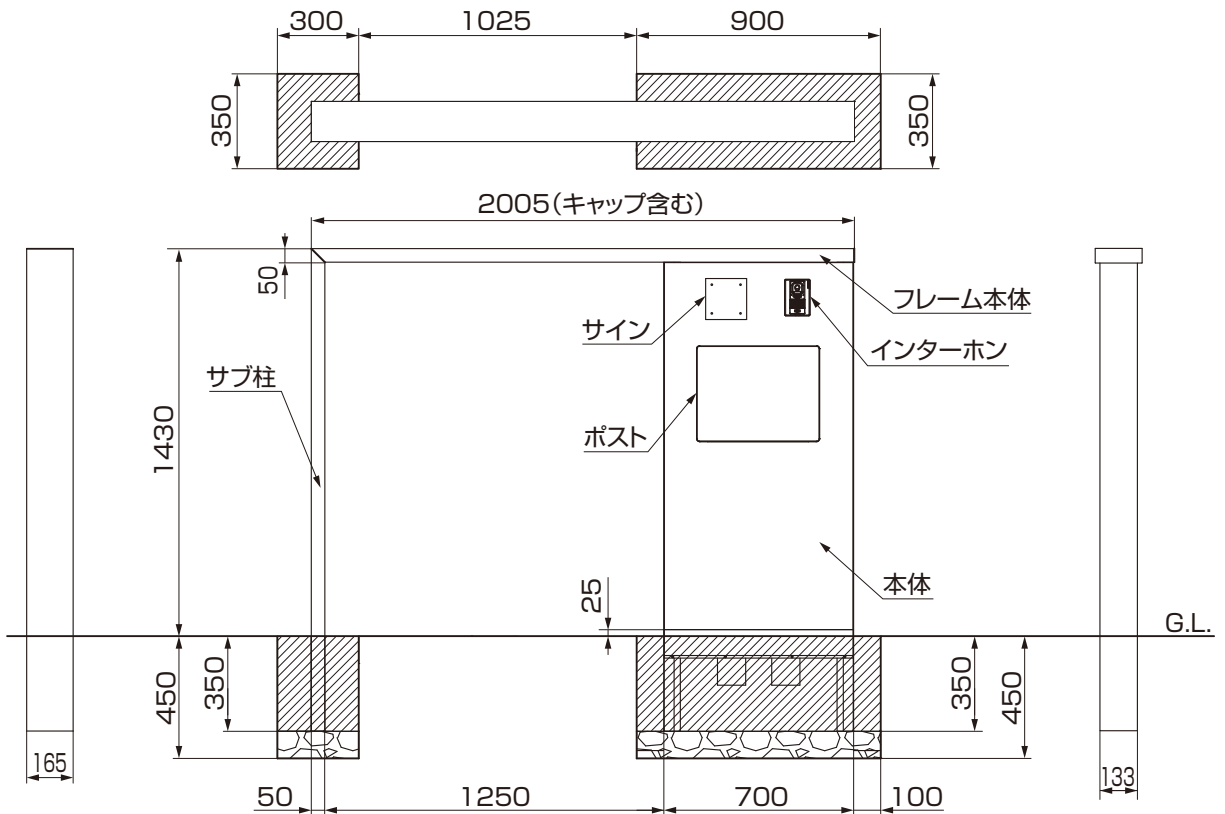
※【5-1】のネジは4個余ります。

# 1. 基礎寸法と各部の名称

## 1-1 ファンクション門袖 (基本タイプ)

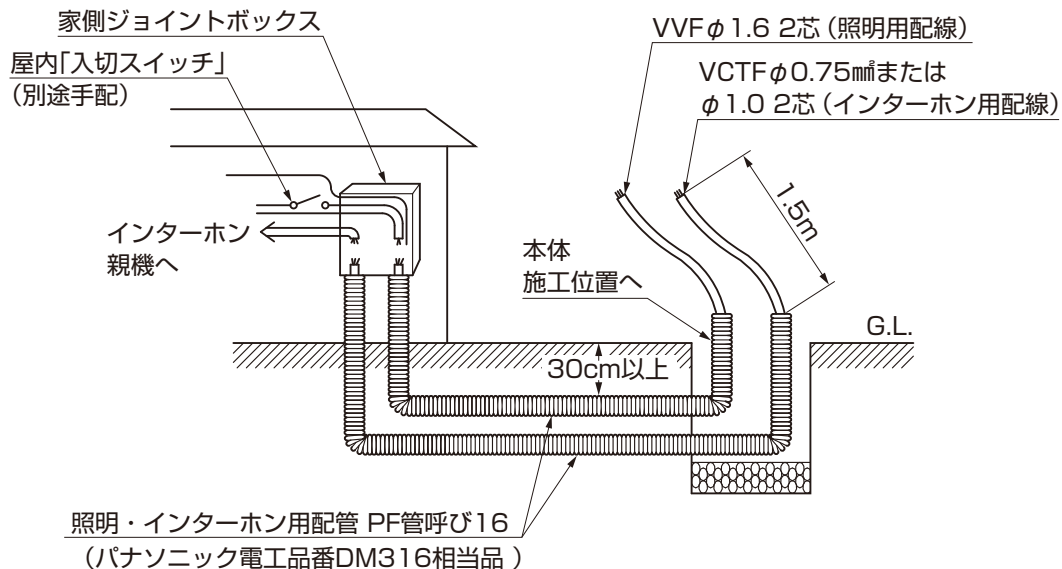


## 1-2 ファンクション門袖 (フレームタイプ)

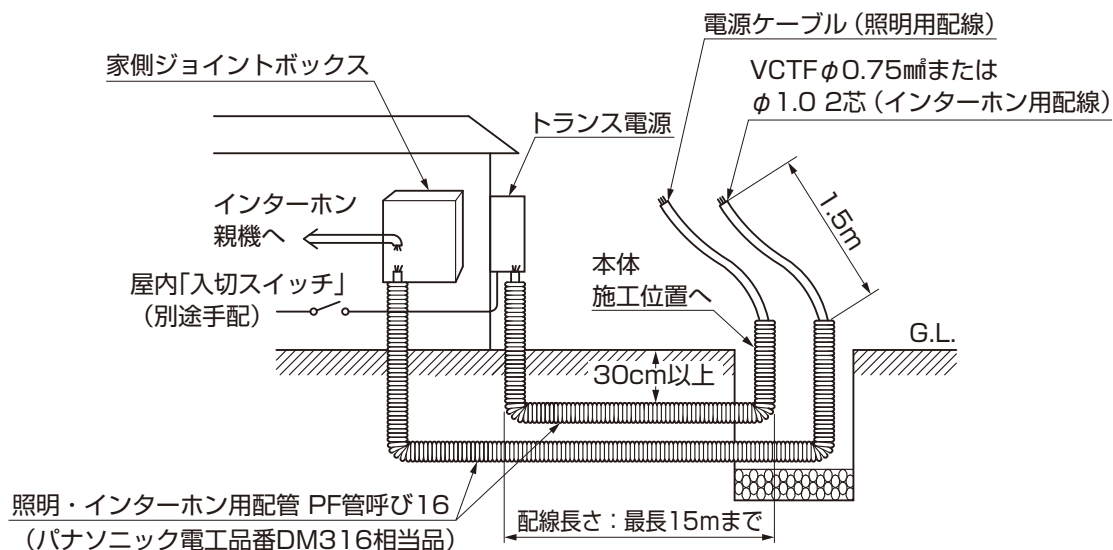


## 2. 配線工事 ※インターホン・照明を取付ける場合

### 2-1 AC100V配線 (AC100V照明・ACアダプタを使用する場合)



### 2-2 DC12V配線 (トランス電源ユニットを使用する場合)



- ①基礎穴を掘り、砕石を敷いてください。
- ②照明およびインターホン用の配線配管をしてください。

#### ポイント

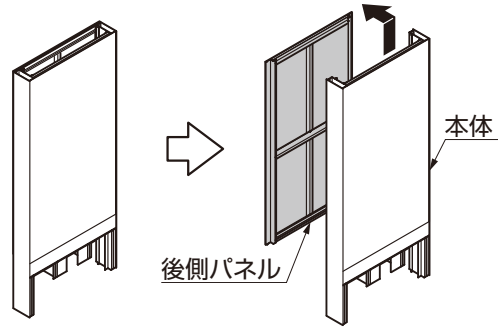
- 照明とインターホン用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ずつけてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも200mm程度立上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。

### 3. 本体の建込み・基礎の打設

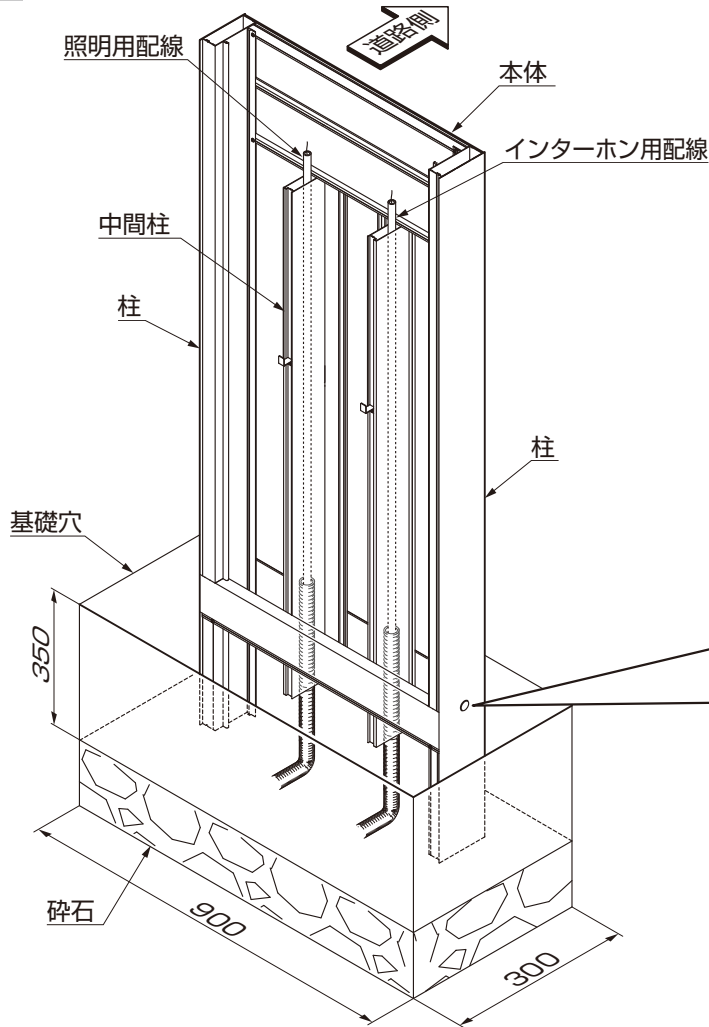
#### ポイント

- 梱包を開梱すると、本体と後側パネルが仮組みされています。後側パネルは上に引上げると、本体から外れます。

【梱包状態】

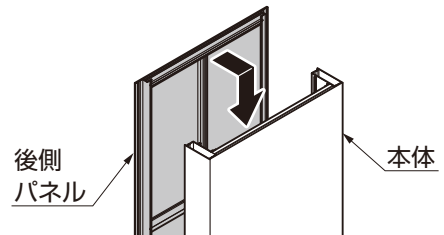


#### 3-1 基本タイプの場合

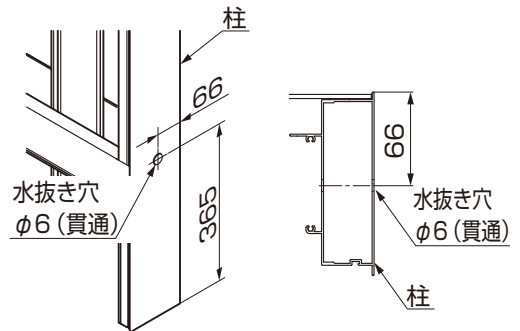


#### ポイント

- 後側パネルの組付けは「5. 本体の組付け 5-1 基本タイプの場合 (1) 後側パネルの取付け」を参照してください。



#### 【水抜き穴加工】



#### ポイント

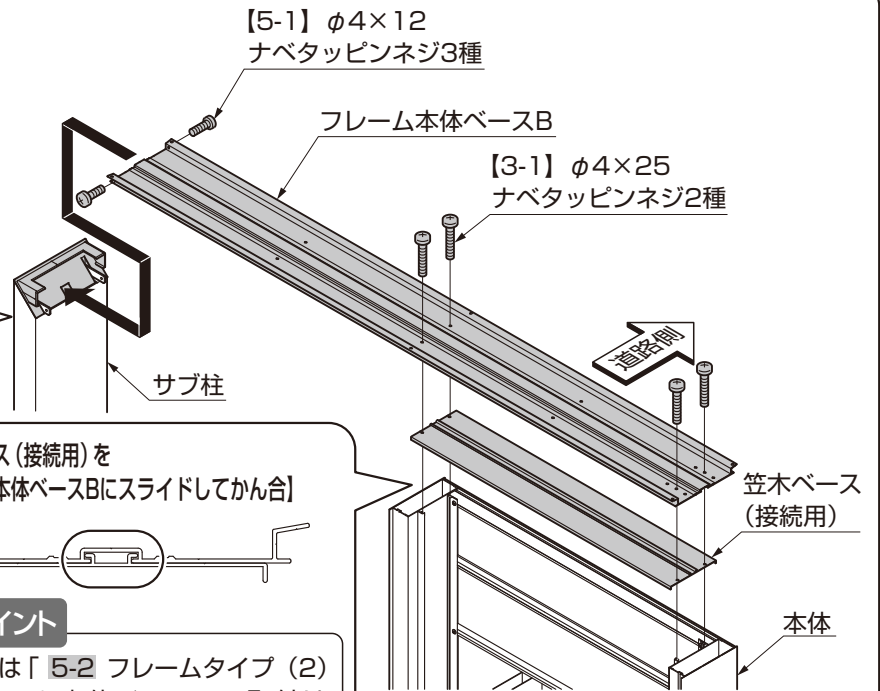
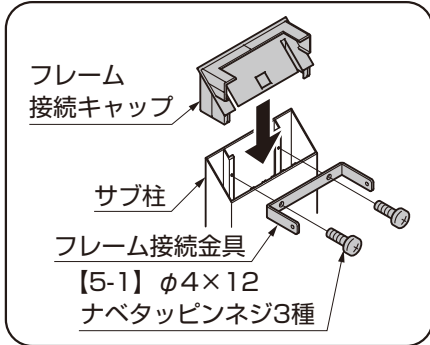
- 穴あけ加工は柱を貫通させてください。

- ① 本体の左右の柱にφ6の水抜き穴をあけてください。
- ② 本体を建込み、各配線を中間柱から引出したら後側パネルを仮組してください。
- ③ 「1. 基礎寸法と各部の名称」を参照し基礎を打設してください。

#### ポイント

- モルタルが固まるまでカイモノをして本体が動かないようにしてください。
- 養生中は本体内部に雨水などが入らないようにしてください。
- 後側パネルまで埋めないでください。外せなくなります。

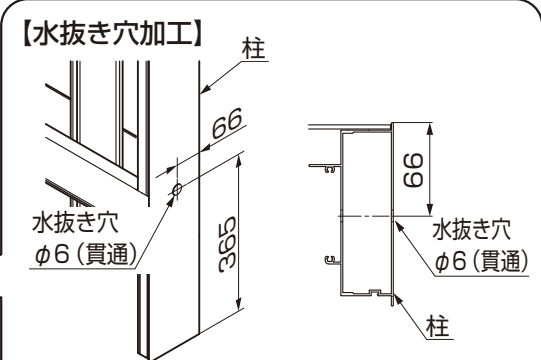
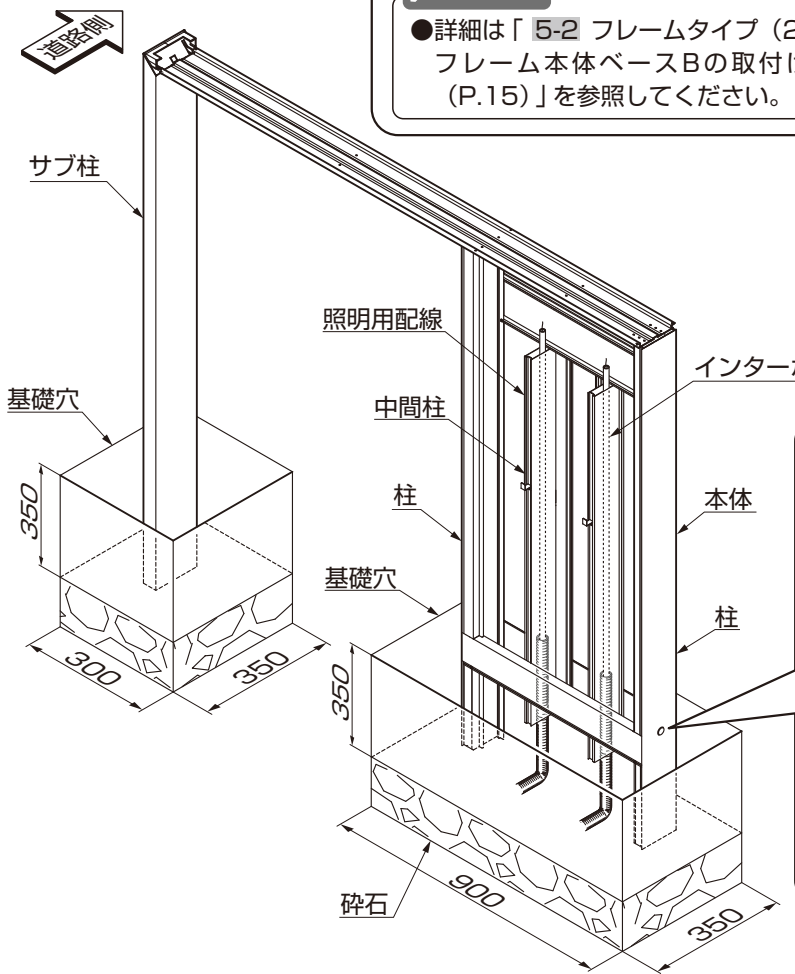
### 3-2 フレームタイプの場合



【笠木ベース(接続用)を  
フレーム本体ベースBにスライドしてかん合】

**ポイント**

●詳細は「5-2 フレームタイプ(2)  
フレーム本体ベースBの取付け  
(P.15)」を参照してください。



**ポイント**

●穴あけ加工は柱を貫通させてください。

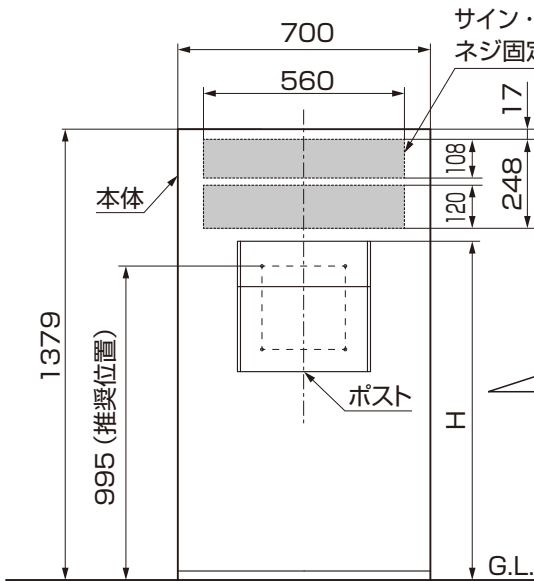
**ポイント**

●モルタルが固まるまでカイモノをして  
本体、サブ柱が動かないようにしてく  
ださい。  
●養生中は本体、サブ柱内部に雨水など  
が入らないようにしてください。

- ①笠木ベース(接続用)をフレーム本体ベースBをスライドし本体に  
【3-1】、フレーム接続金具に【5-1】で固定してください。
- ②左右の柱にφ6の水抜き穴をあけてください。
- ③本体、サブ柱を建込み、配線を中間柱から引き出してください。
- ④「1. 基礎寸法と各部の名称」を参照し基礎を打設してください。

## 4. オプションの取付け

### 4-1 サイン・インターホン・照明のネジ固定可能範囲 対応可能なポストの取付高さ



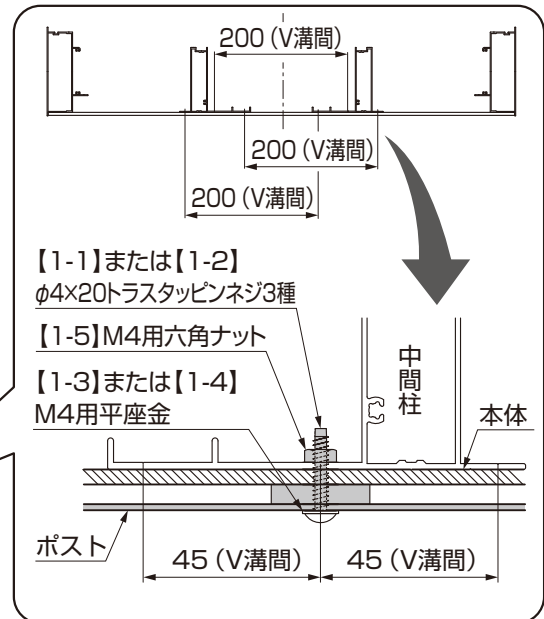
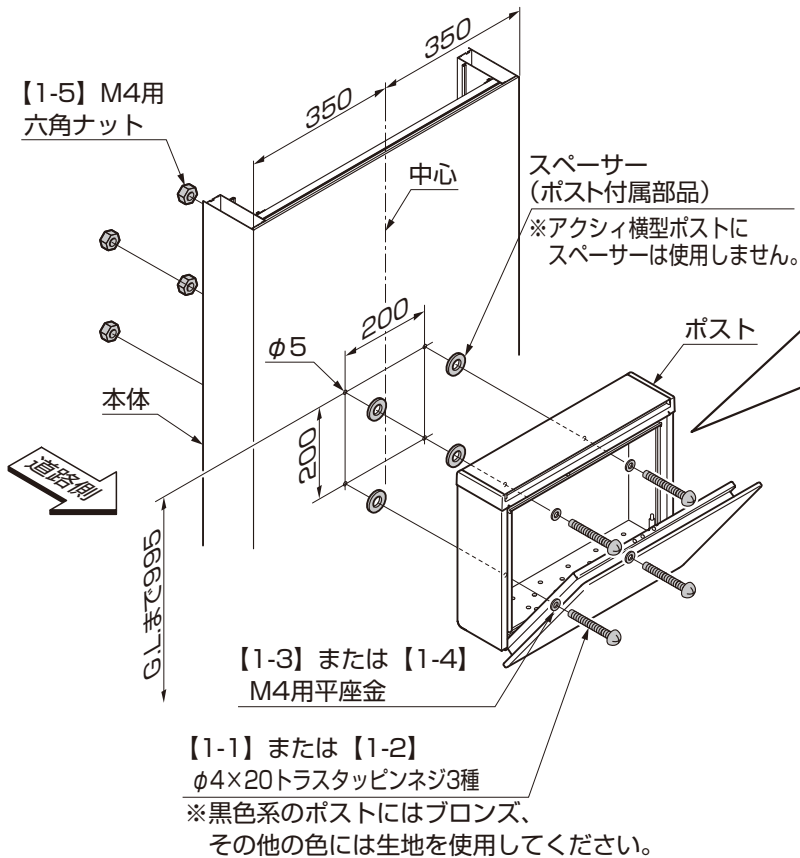
#### ポイント

●左図は取付説明書上の推奨高さになりますが、取付け位置によってポスト投函口とサイン等が干渉する場合があります。取付け位置を事前に確認してください。

対応ポスト	H
L-1型	1060
フラット横型ポスト	1105
プレーン	1085
ヴェール	1095
ハンクス	1083
グレイス	1105
アクシィ横型ポスト	1085

①ポストの取付け位置およびサイン・インターホン・照明の取付け位置を事前に確認してください。

### 4-2 ポストの取付け



#### ポイント

- ポストの設置高さの変更は可能です。  
(図は推奨位置)
- ポストは本体中心から左右45mmずらした位置にも取付けることができます。  
(上図V溝位置)
- ポストの穴位置、加工の詳細はポストの取付説明書を参照してください。

①本体にφ5の穴をあけてください。

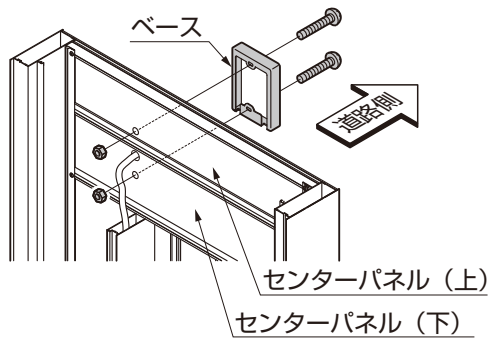
②ポストを本体に【1-1】または【1-2】、【1-3】または【1-4】、【1-5】で取付けてください。



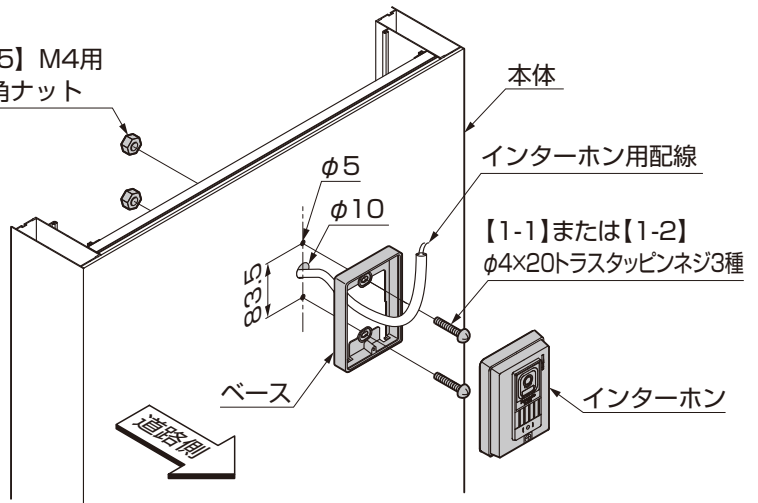
### 4-3 インターホンの取付け

#### ポイント

- 必ずセンターパネルに固定してください。



【1-5】 M4用六角ナット



- ①本体にφ5とφ10の穴をあけて、インターホンを本体に【1-1】または【1-2】と【1-5】で取付けてください。

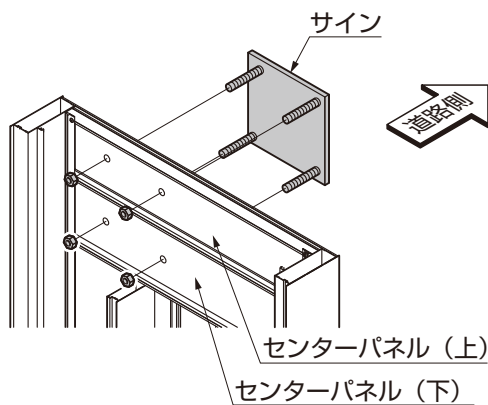
#### ポイント

- 固定の際に配線を接続してください。取付け、配線の詳細はインターホン子機の取付説明書を参照してください。
- インターホン取付けの前にカメラ位置を調整してください。

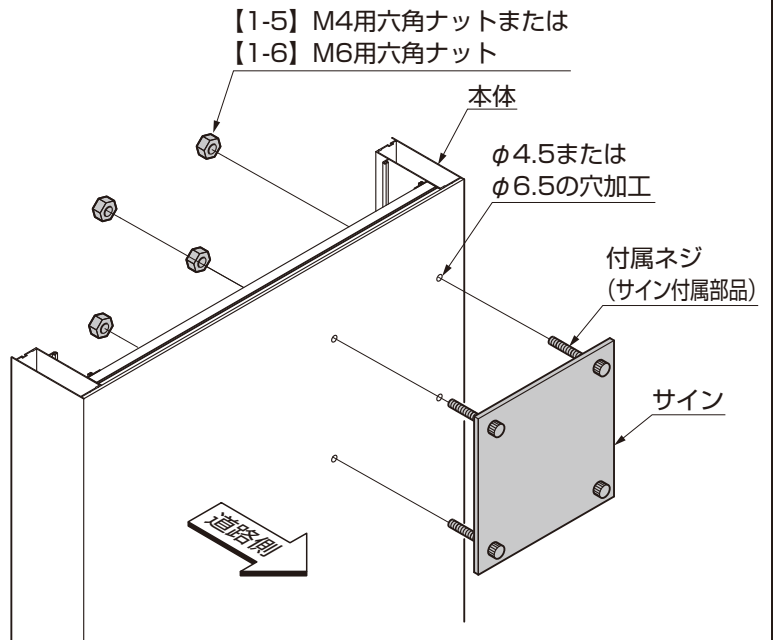
### 4-4 サインの取付け ※図は4点止めですが、3点止めや2点止めの場合も同様です。

#### ポイント

- 必ずセンターパネルに固定してください。



【1-5】 M4用六角ナットまたは  
【1-6】 M6用六角ナット



- ①サインのネジ位置にあわせて本体にφ4.5またはφ6.5の穴をあけてください。
- ②サインを本体に【1-5】または【1-6】で取付けてください。

#### ポイント

- 付属ネジの組立て、サインの詳細はサインの取付説明書を参照してください。
- サインを取付ける時、取付けネジを締め付けすぎないように取付けてください。

## 4. (つづき)

### 4-5 照明の取付け

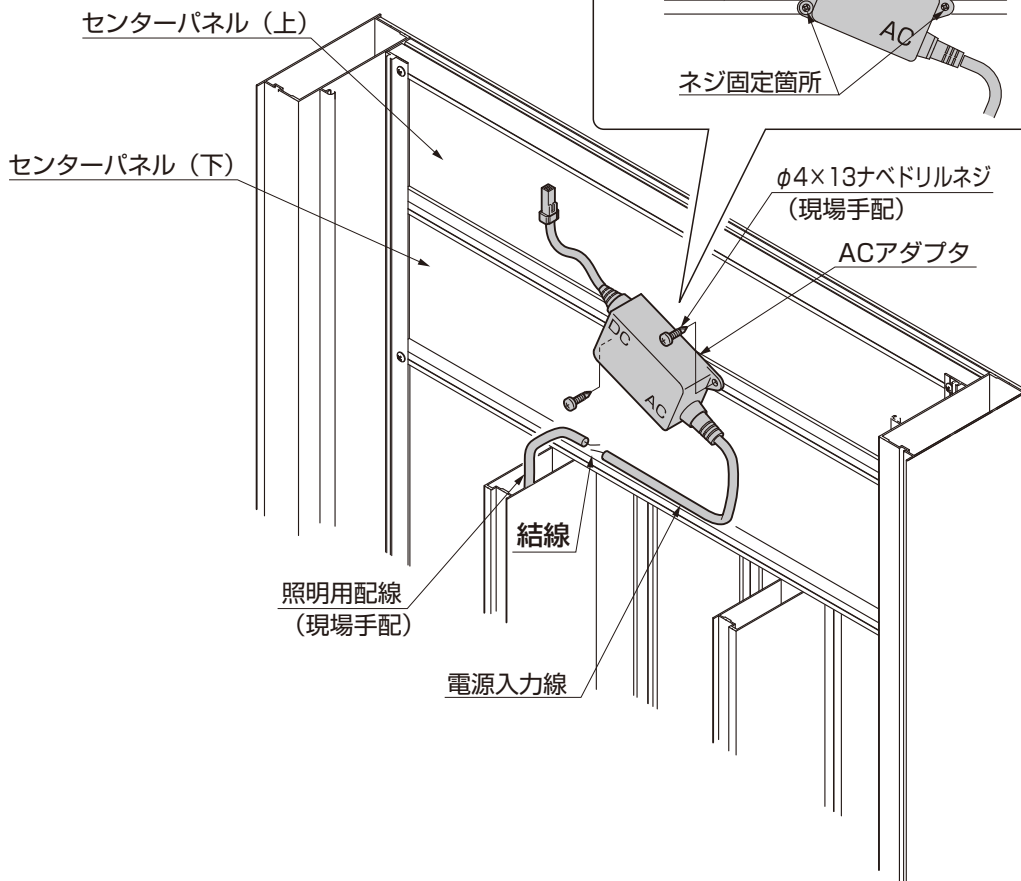
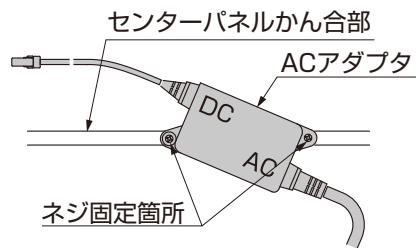
#### (1) ACアダプタの取付け

##### ポイント

●トランス電源ユニット屋外用およびAC100V照明を使用する場合は「(2) 照明灯具の取付け」に進んでください。

##### ポイント

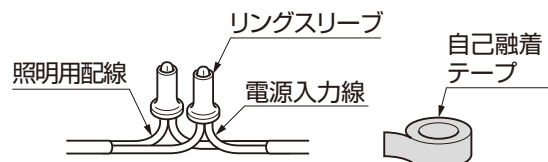
●下図のように配置して、ネジを2点止めで固定してください。



- ①ACアダプタを本体にφ4×13ナベドリルネジ(現場手配)で固定してください。
- ②照明用配線とACアダプター側の電源入力線を結線してください。

##### 警告

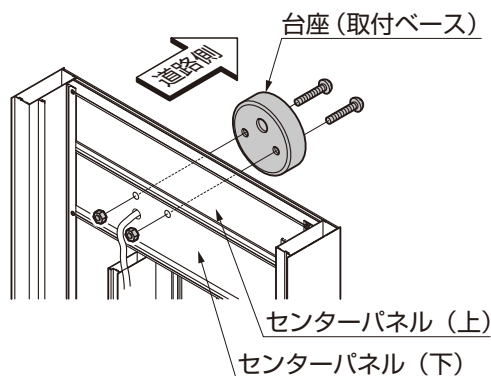
●配線接続部はリングスリーブで確実にを行い、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因になります。



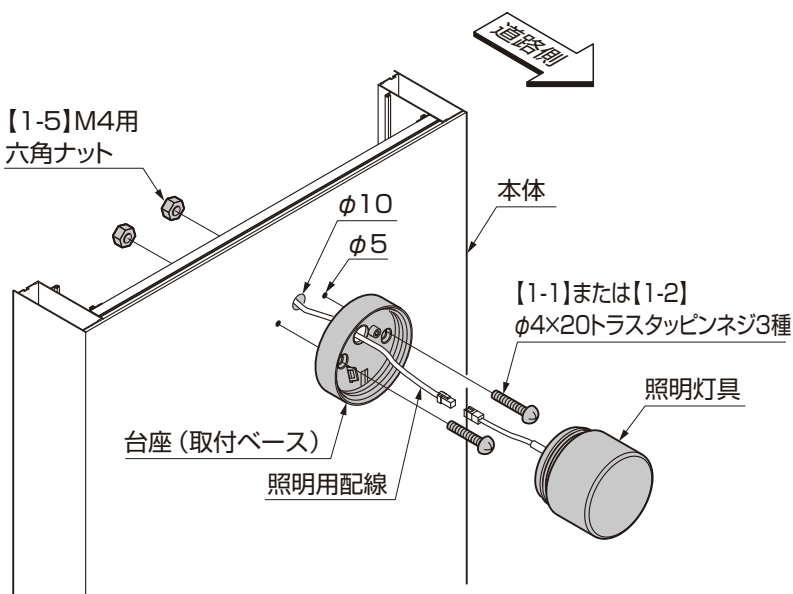
## (2) 照明灯具の取付け

### ポイント

- 必ずセンターパネルに固定してください。



【1-5】M4用六角ナット



- ①各照明のネジ・配線位置に合わせて本体に $\phi 5$ の取付穴、 $\phi 10$ の配線穴をあけてください。
- ②台座 (取付けベース) を【1-1】または【1-2】と【1-5】で本体に固定してください。
- ③照明との配線を行ない照明灯具を台座へ固定してください。詳細は各照明の取付説明書を参照してください。

### ポイント

- 照明により結線方法が違います。各照明の取付説明書を参照し結線してください。

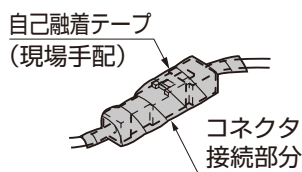


図4-1 コネクタ同士の接続 (DC12V)

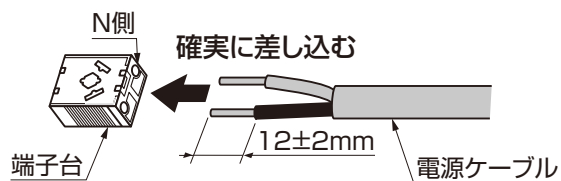


図4-2 端子台への接続 (AC100V)

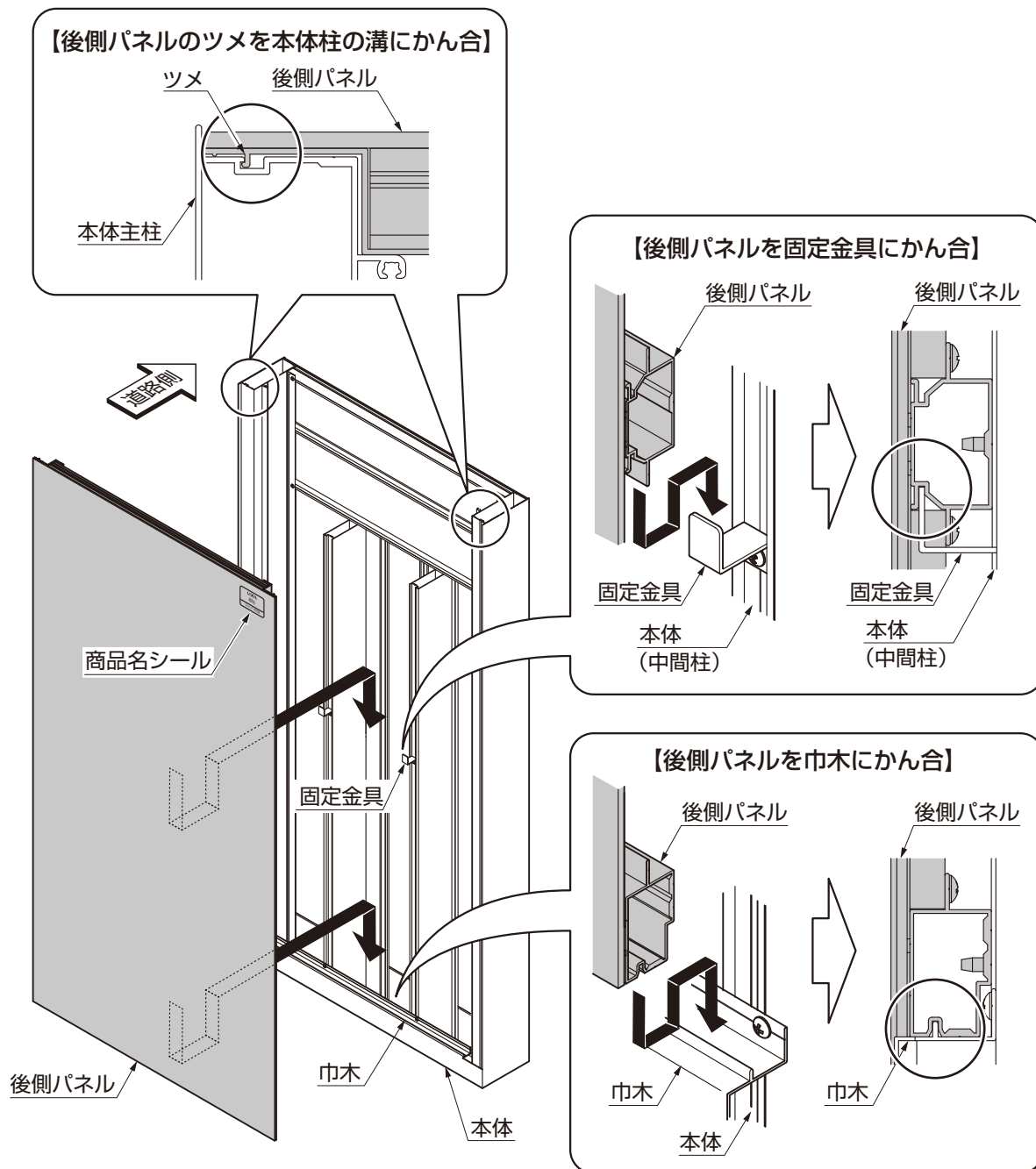
### 警告

- コネクタ同士の接続の場合、配線接続部は自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因になります。

## 5. 本体・笠木・フレームの取付け

### 5-1 基本タイプの場合

#### (1) 後側パネルの取付け

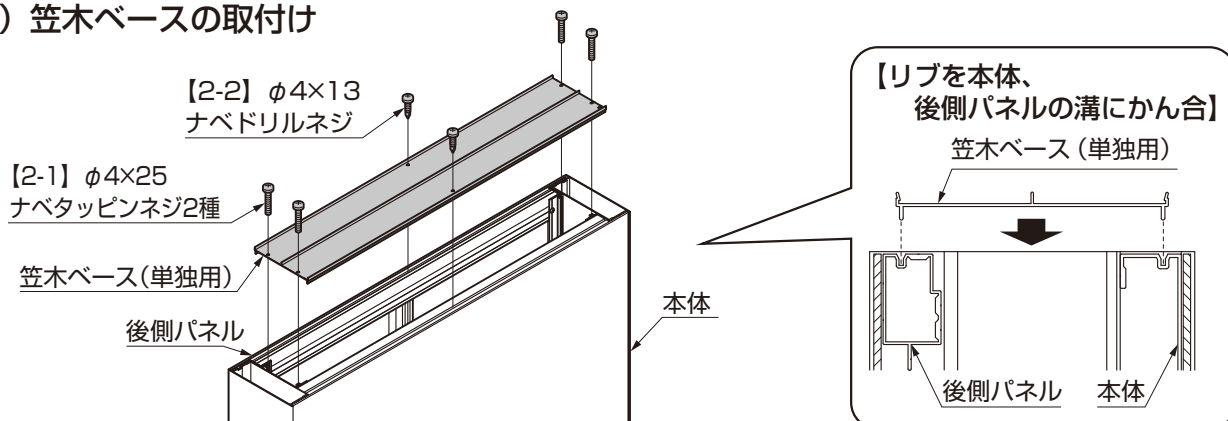


①後側パネルを本体柱、固定金具、巾木に差込んでください。

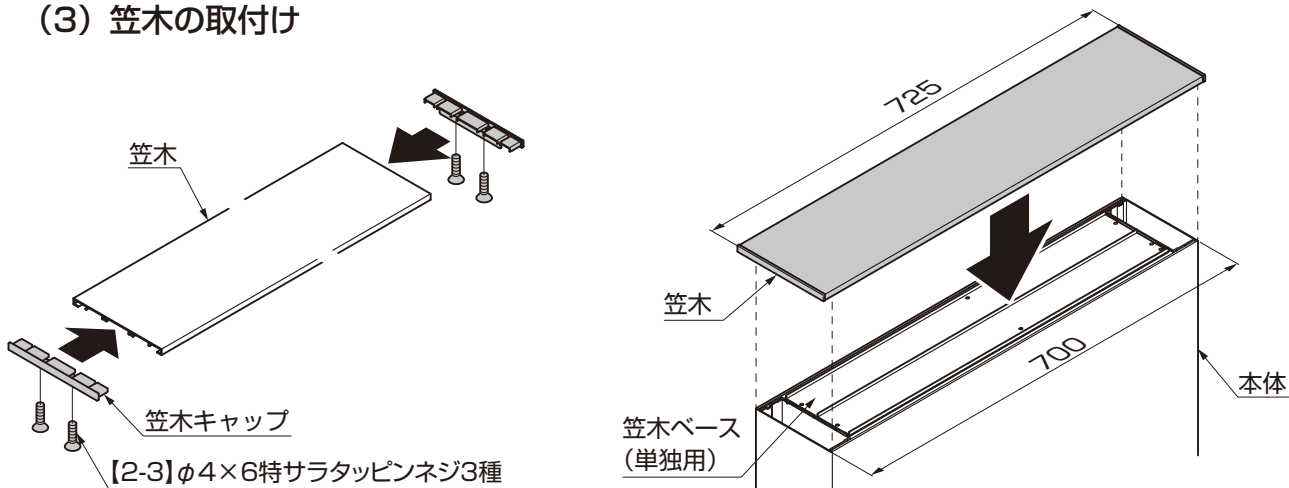
#### ポイント

- 上部からすべてスライドでなく、本体より50mm程度上から差込んでください。
- 商品名シールが上部側に来るよう取付けてください。

## (2) 笠木ベースの取付け



## (3) 笠木の取付け



- ① 笠木キャップを笠木にはめ込んで【2-3】で取付けてください。
- ② 笠木を笠木ベース(単独用)にはめ込んでください。

### ポイント

- 笠木と笠木ベース(単独用)がしっかりかん合していること確認してください。(図5-1参照)
- 笠木キャップ下側のリブを本体支柱の中に入れてください。(図5-2参照)
- 笠木を外す場合は下記作業を行なってください。
  - ① 笠木キャップを取外してください。
  - ② 市販の潤滑剤を【※】部に吹付け、笠木を水平に強く引き抜くか、当て木などを使用して叩き抜いてください。

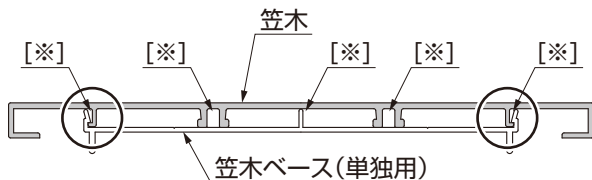


図5-1

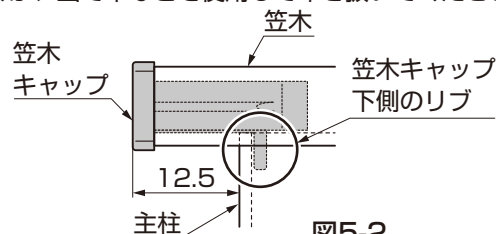
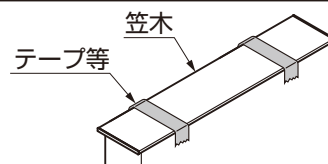


図5-2

### 補足

- サイン・ポスト・インターホン・照明を後から施工する場合、笠木はかん合させず、テープ等で仮止めしてください。
- 仮固定の際に本体に雨水が入らないように養生してください。



## 5. (つづき)

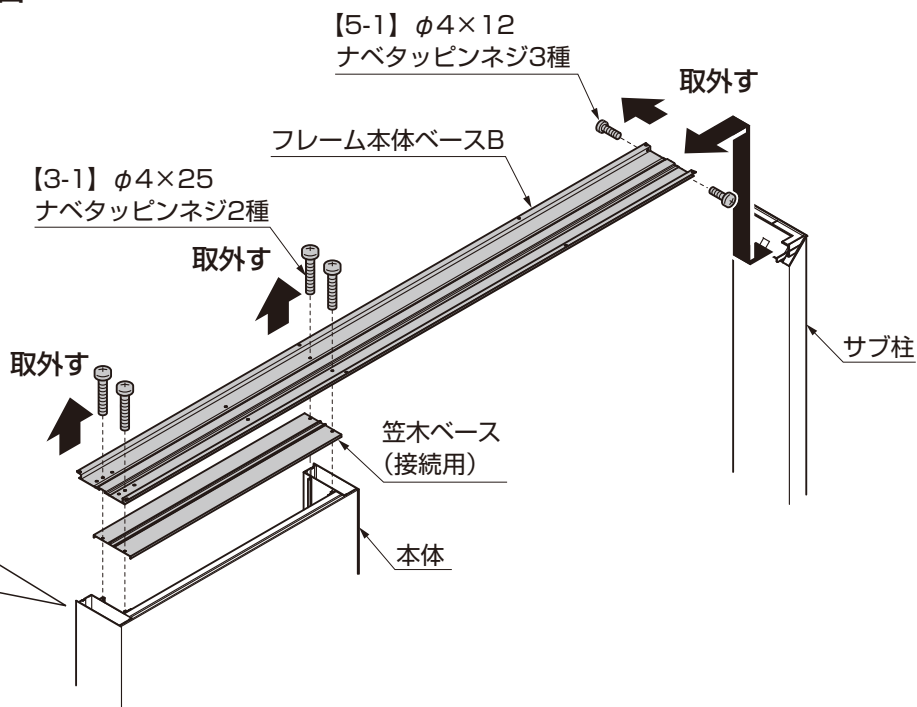
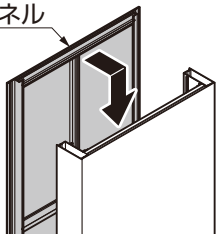
### 5-2 フレームタイプの場合

#### (1) 後側パネルの取付け

##### ポイント

- 後側パネルの組付けは「5. 本体の組付け 5-1 基本タイプの場合 (1) 後側パネルの取付け」を参照してください。

後側  
パネル

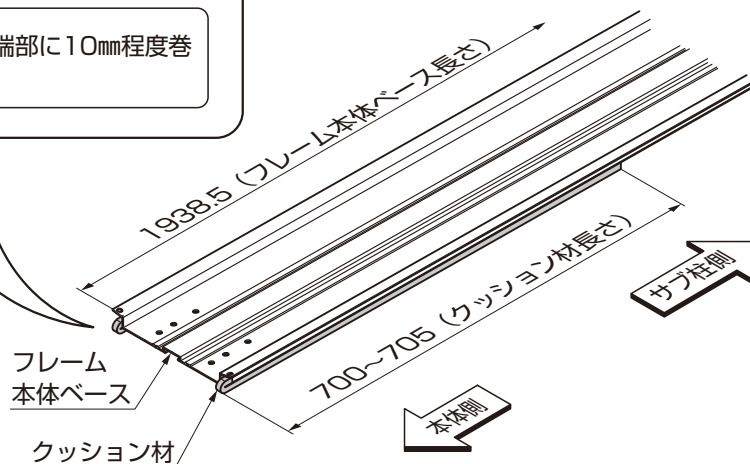
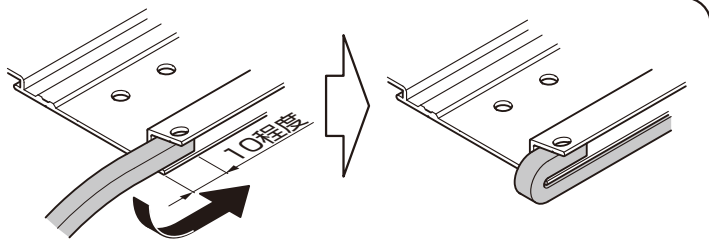


- ①本体、サブ柱からフレーム本体ベースB、笠木ベース (接続用) を一度外してください。
- ②「5-1 基本タイプの場合 (1) 後側パネルの取付け」を参照して後側パネルを本体に付けてください。

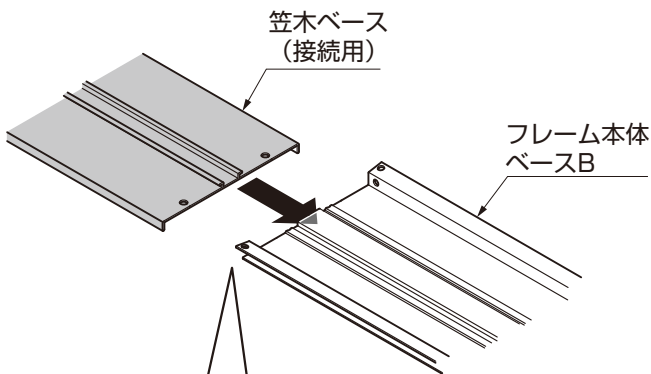
#### (2) フレーム本体ベースBの取付け

##### ポイント

- クッション材はフレーム本体ベースBの端部に10mm程度巻きこむように貼ってください。



- ①クッション材を半分に切断してフレーム本体ベースBに両端部に貼り付けてください。



【笠木ベース (接続用) を  
フレーム本体ベースBにスライドしてかん合】

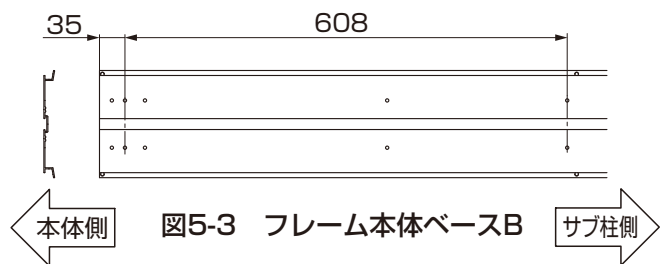
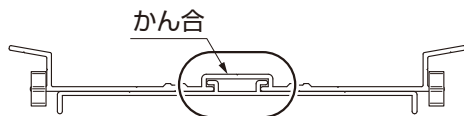


図5-3 フレーム本体ベースB

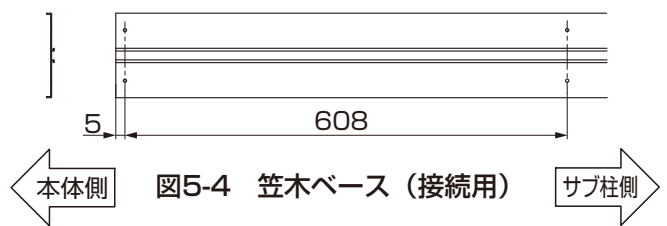
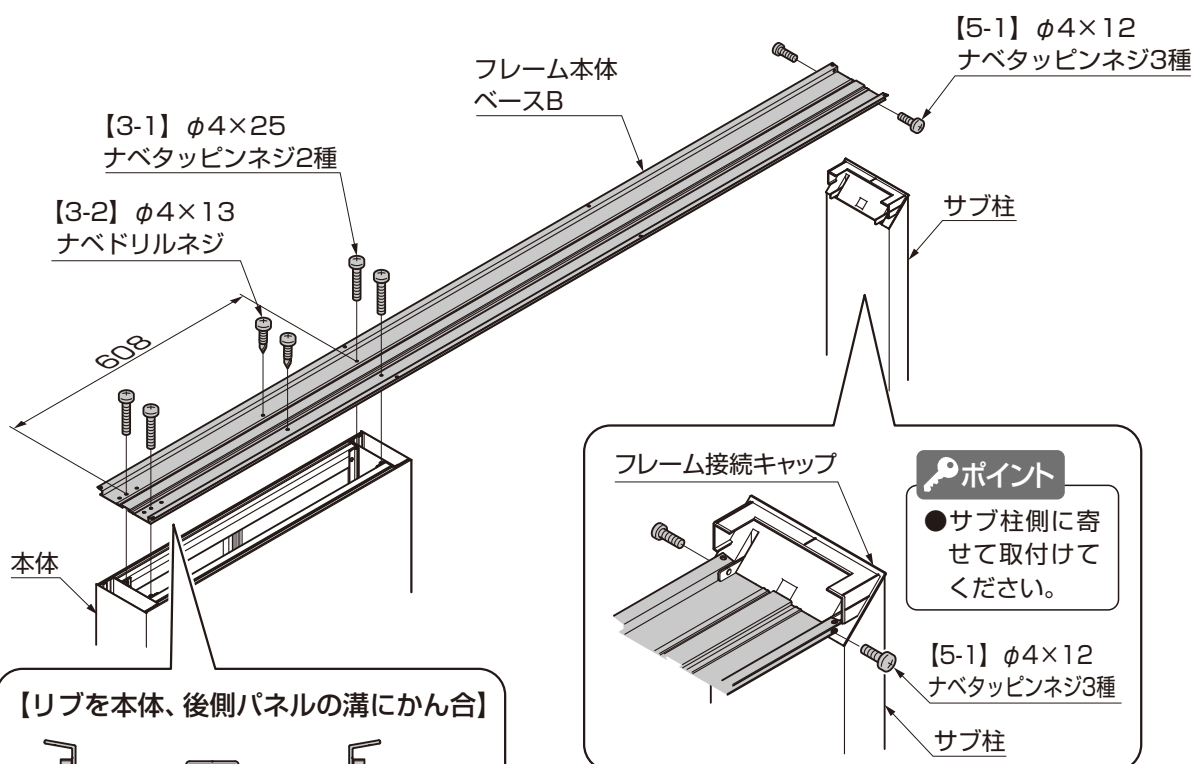
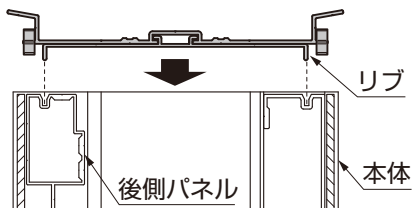


図5-4 笠木ベース (接続用)



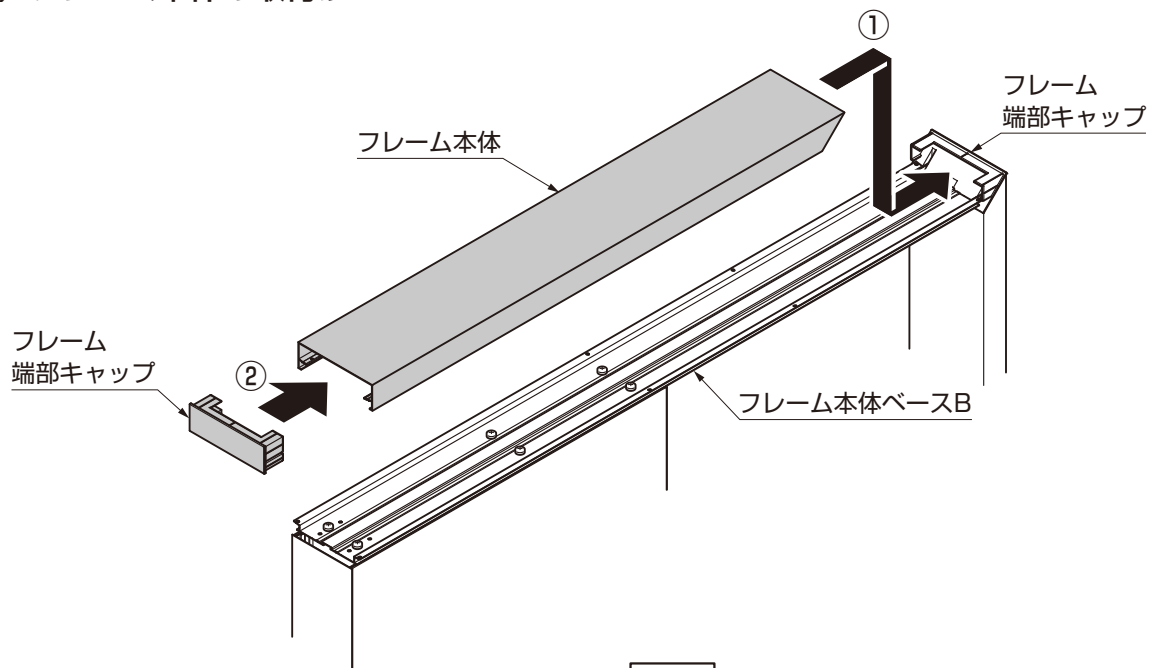
【リブを本体、後側パネルの溝にかん合】



- 笠木ベース (接続用) をスライドしフレーム本体ベースBに図5-3、図5-4を参照し穴位置を合わせてください。
- 笠木ベース (接続用) を本体、後側パネルの溝にはめ込み【3-1】、【3-2】で本体に取付けてください。
- フレーム本体ベースBをサブ柱に【5-1】で取付けてください。

## 5. (つづき)

### (3) フレーム本体の取付け



#### ポイント

- フレーム端部キャップと共締めしてください。



【4-1】  $\phi 4 \times 14$   
ナベタッピンネジ3種

#### ポイント

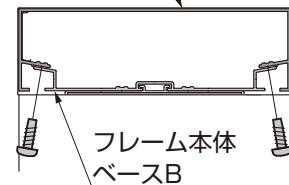
- 右図の穴位置にネジ止めしてください。

ネジ止め位置



【5-2】  $\phi 4 \times 14$   
ナベタッピンネジ3種

フレーム本体



- ① フレーム本体をフレーム接続キャップに差込んでください。
- ② フレーム端部キャップをフレーム本体に差込んでください。
- ③ フレーム本体とフレーム端部キャップをフレーム本体ベースBに【4-1】、【5-2】で取付けてください。

取説コード

**B093**

JZZ630910A  
201605A\_1049  
201801B\_1049